

2014 年度新潟市新津美術館企画展

# メタルズ！ ー変容する金属の美ー

## 開催要項

新潟市新津美術館

1. 展覧会名      メタルズ！ ー変容する金属の美ー

2. 開催趣旨

ーすべての造形の基本は素材にあるー

金属は、古代からさまざまな造形を生み出してきました。本展では、京都国立博物館や東京国立近代美術館をはじめ、全国 30 余の博物館・美術館のご協力のもと、古代や中世の出土品から、近現代に至るさまざまな金属造形、金属工芸の名品約 120 点を紹介します。

金属のもつ輝き、彩り、音などの特性や、道具や装飾などの機能性にも着目し、これまでにない切り口で構成し、金属産業とゆかりの深い地域の博物館・美術館が連携して開催するものです。

また特別展として、新潟県内作家の近現代の作品のほか、燕三条などの金属産業・工業デザインの優品などもあわせてご紹介します。

【平成 26 年度地域創造公立美術館巡回展支援事業】

※本展は、高岡市美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、北九州市立自然史・歴史博物館(ともに終了)、新潟市新津美術館で開催します。

新潟市新津美術館が最後の開催会場です。

3. 会期・開館時間など

平成 27 年 1 月 24 日 (土) ～ 3 月 8 日 (日)

休館日：月曜日 (3 月 2 日は開館)

開館時間：午前 10 時～午後 5 時 (観覧券販売は午後 4 時 30 分まで)

4. 会場

新潟市新津美術館

新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109-1 花と遺跡のふるさと公園内 (新潟県立植物園となり)

5. 料金

一般 800 円、大学・高校生 600 円 (中学生以下無料)

※有料 20 名以上は団体料金 (2 割引)

※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料です。受付で手帳をご提示ください。

※新潟県立植物園または新潟市鉄道資料館の入館券提示により 2 割引

6. 主催

新潟市新津美術館、メタルズ！ 実行委員会

(高岡市美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、北九州市立自然史・歴史博物館、新潟市新津美術館)



7. 共催 新潟日報社、NHK プロモーション
8. 後援 朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK 新潟放送局、BSN 新潟放送、N S T、TeNY テレビ新潟、UX 新潟テレビ 21、NCV 新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ
9. 助成 一般財団法人 地域創造
10. 協力 新潟県立近代美術館・万代島美術館、燕市産業史料館
11. 企画・監修 村上 隆（高岡市美術館 館長／京都美術工芸大学 教授）

12. 展示構成（展示順を示すものではありません）

第1部 近代までの造形（古代・中世・近世）

出土品＝ 古代青銅器（銅鐸・銅剣、鏡など）、貨幣、鏡、装身具など

伝世品＝ 仏具・刀装具など

輸出工芸から近代の金工へ

明治の彫金・輸出工芸 鈴木長吉・本間琢斎・関義平など

第2部 近現代彫刻・造形

毛利教武・中原悌二郎・戸張孤雁、堀内正和・野水信・村岡三郎・若林 奮・村上炳人・堀川 恭・舟越保武・佐藤忠良など

第3部 近現代工芸

香取秀真・津田信夫・藤井達吉、佐々木象堂・海野清・北原千鹿・高村豊周・平松保城・三代宮田藍堂・玉川宣夫など

現代工業製品にみるデザイン・アート

13. 主な出品作品

《三角縁二神二獣鏡（愛知県犬山市東之宮古墳）》（京都国立博物館蔵品から復原模造）

重要文化財の青銅鏡を、村上隆館長による精緻な計測と材料分析に基づいて制作当初の形と色をよみがえらせた復原模造品。

3世紀に造られた古代青銅鏡が、本来どのような姿であったかを知ることができる。

縁の断面が三角形であることから「三角縁」と呼ばれ、文様の基本は神像と獣像を交互に配列した構成をとる。邪馬台国の女王卑弥呼が魏の皇帝から下賜された銅鏡とする説もある。

金属3Dプリンターによる復原により、鏡の凹凸が光を反射して模様が浮かび上がる“魔鏡現象”が確認された。



《金銀鍍透彫華籠》（鎌倉時代）（福岡市美術館蔵）

滋賀県神照寺伝来とされる仏具で、宝相華唐草文を透かし彫りした美しい作品。散華供養の際の花を盛るために用いられる。

同じ由来の他の作品は国宝に指定されており、日本金工史上、名品中の名品と称されている。



## 《鈴木長吉「十二の鷹」より》三点（東京国立近代美術館蔵）

高岡市出身の林忠正が考案し、のちに帝室技芸員となった鈴木長吉が制作監督した。シカゴ万博（1893）に出品され日本金工の最高峰と絶賛された。

金、銀、銅のさまざまな合金が駆使されており、さまざまな表情を持つ鷹の姿を表現した写実性は見る者を圧倒する迫力がある。



## 《銀薫炉 復元模造》

玉川宣夫・市川正美による（正倉院事務所蔵） ※新潟展のみ展示します。

### ■関連イベント

#### 1. メタルズ！記念講演会

演題 「変容する金属の美」

講師 村上 隆 氏

（高岡市美術館 館長／京都美術工芸大学 教授）

日時 2015年1月24日（土）

13:30～15:00（開場 13:00）

会場 新潟市新津美術館 1階 レクチャールーム

参加費 無料、申込み不要

（ただし展覧会の観覧券が必要）



三角縁二神二獸鏡（愛知県犬山市東之宮古墳）《京都国立博物館蔵品から復元模造》

邪馬台国の女王 卑弥呼が魏の皇帝から下賜されたとする説のある鏡。

村上隆氏による金属3Dプリンターによる復原により、鏡の凹凸が光を反射して模様が浮かび上がる“魔鏡現象”が確認された。

#### 2. 人間国宝・玉川宣夫 講演会

日時 2015年2月8日（日）13:30～15:00（開場 13:00）

演題 「木目金の魅力」

内容 玉川宣夫氏より木目金の魅力をお話していただきます。

続いて、正倉院所蔵の銀薫炉の復元模造制作に関わった玉川宣夫氏・市川正美氏のお二人に、銀薫炉復元模造制作の際のエピソードなどをお聞きします。

出演 玉川宣夫氏（鍛金・重要無形文化財保持者、新潟県燕市在住）

市川正美氏（彫金家・新潟県燕市在住）

聞き手 横山 秀樹（新潟市新津美術館 館長）、齋藤 優介（燕市産業史料館 主任学芸員）

会場 新潟市新津美術館 1階 市民ギャラリー

参加費 無料、申込不要（ただし展覧会観覧券が必要）

（追加変更のお知らせ）2月8日の講演会には、市川正美氏にもご出演いただきます。

玉川宣夫氏略歴… 昭和17年(1942)三条市(旧下田村)生まれ。昭和34年に玉川堂に入社後、東京にて鍛金・人間国宝の関谷四郎に学ぶ。その後独立し、制作活動に専念する。平成14年春紫綬褒章授章。平成22年重要無形文化財保持者(人間国宝・鍛金)に認定。木目金技術の第一人者。



玉川宣夫《木目金花瓶》2001年  
（燕市産業史料館）



玉川宣夫氏

## ワークショップ

### 3. 銅鏡・銅鐸・銅銭づくり体験

新潟市新津美術館隣の弥生の丘展示館で、銅鏡・銅鐸・銅銭づくりを体験できます。

(制作したものは持ち帰りできます。)

毎日 10:00～15:30 (月曜と休館日を除く) 申込不要

制作費：銅鏡 400 円 (制作時間約 30 分)

銅鐸 900 円 (制作時間約 40 分)

銅銭 (和同開珎) 200 円 (制作時間約 30 分)

会場：史跡 古津八幡山 弥生の丘展示館

(新潟市秋葉区蒲ヶ沢 264 番地、電話：0250-21-4133)



銅鏡・銅鐸のほか銅銭づくりもできます

### 4. マイスター指導による My 箸置き・ブックマーク制作体験

日時 2015 年 2 月 15 日 (日) (制作時間：約 1 時間 30 分)

要申込み

① 木の葉の箸置き制作 10:30～12:00

② 木の葉のブックマーク制作 13:30～15:00

対象 小学生高学年以上

参加費 500 円 (材料費込み) (制作したものは持ち帰りできます。)

定員 各回 10 名。「参加者の住所、氏名、電話番号、人数、参加希望会」をお伝えのうえ、新津美術館へお申込みください。電話：0250-25-1300

対象 小学生高学年以上

参加費 500 円 (材料費込み)

講師 大岩信夫 氏

新潟県央マイスター (手彫り彫金・彫刻)。「木の葉の箸置き」で、全国推奨観光土産品審査会の工芸部門で経済産業大臣賞を受賞。



木の葉の箸置き



木の葉のブックマーク



## ◎新津美術館のやさしいサービス

### ・託児サービス(無料)

お客様の鑑賞中に、お子様を専門スタッフがお預かり致します。

時間 会期中の第2・第4の木曜・土曜日 10:00～12:00(事前申込み・先着順)

定員・対象 3名程度、生後6カ月～就学前のお子様

申込方法 利用日の3日前までに電話 0250-25-1300 でお申込みください。

### ・こどもタイム

会場に音楽が流れて、会話を楽しみながら鑑賞できます。

時間 会期中の第1・第3の木曜・日曜日 10:00～13:00

### ・あいてマンデ～！

通常は月曜休館ですが、会期中1回以上は月曜でも開館します。

本展では3月2日(月)はあいてマンデ～！

## ◎交通案内

### ●JRをご利用の場合

JR 古津駅から徒歩約25分、JR 新津駅からタクシーで約15分、矢代田駅からタクシーで約5分

### ●お車をご利用の場合

新潟方面から 国道49号線 茅野山ICを国道403号線 加茂・新津方面へ(新潟駅から約20km、約45分)

高速道・磐越自動車道 新津ICから車で約20分、新津西スマートICから約15分

### ●バスをご利用の場合

JR 新津駅東口バス停から、秋葉区バスに乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・潟東行き」に乗車約12分、「新津美術館入口」で下車、徒歩5分。

JR 矢代田駅バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行き」に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「新津行き」に乗車約3分、「新津美術館入口」で下車、徒歩5分



新潟市新津美術館 担当：横山秀樹、小熊千佳子  
〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1  
TEL：0250(25)1300 FAX：0250(25)1303  
E-mail：[museum.ni@city.niigata.lg.jp](mailto:museum.ni@city.niigata.lg.jp)  
<http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

## 広報用画像& 読者プレゼント用招待券申込み

本展覧会の作品画像データをご希望の方は、必要事項をご記入の上、新潟市新津美術館までFAXでお申し込み下さい。また、貴社広報物にて当展覧会をご紹介いただき、読者プレゼントをご希望の場合はお申し出ください。(招待券5組10枚まで可能)

※ 写真は本展覧会の広報用として、会期終了までの使用に限らせていただきます。

※ 読者プレゼントの際には、写真を掲載し本展をご紹介ください。また、プレゼントの受付・発送は貴社にてお願いいたします。

※ご掲載誌が発行されましたら、当館までご送付下さいますようお願い申し上げます。

会社名

メディア・部署

ご担当者名

〒

住所

TEL

FAX

E-mail

読者用プレゼント用招待券 \_\_\_\_\_ 枚 希望 ※希望の場合のみ

★希望画像データ (□に✓を入れてください) ※画像トリミング不可



三角縁二神二獣鏡(愛知県犬山市東之宮古墳)  
京都国立博物館蔵品より復原模造



十二の鷹(部分) 鈴木長吉  
東京国立近代美術館



《木目金花瓶》 玉川宣夫  
燕市産業史料館



蠟型銅羅漢鈕香炉  
初代 本間琢斎  
新潟県立近代美術館・万代島美術館



金銀鍍透彫華籠(鎌倉時代)  
福岡市美術館



袈裟褌文銅鐸(弥生時代)  
京都国立博物館